

各位殿

## 野村地区で 36 年ぶりに御田植祭の儀

久保谷地区において「宮中新嘗祭献穀粟播種祭・御田植祭」

JA ひがしうわは今年、宮中の恒例行事である新嘗祭（毎年 11 月 23 日に天皇が収穫したばかりの穀物を神に供える宮中行事）に新米を献上する「献穀」の大任を預りました。

それに伴い、**6 月 3 日（日曜日）午前 9 時～**野村町阿下 8 号（久保谷）地区の神社・献穀田において「新嘗祭献穀粟播種祭・御田植祭」を行います。野村町からの献穀は昭和 57 年依頼 36 年ぶりとなります。

粟の献穀者は、岩口公一＝いわぐちこういち＝さん（69 歳）、米の献穀者は、橋本勝＝はしもとまさる＝さん（63 歳）が選ばれました。兩人とも同地区で長年農業を営んでいる篤農家です。9 月中旬に収穫し天日乾燥調製した後、粟、米それぞれを 10 月下旬に皇居へ持参する予定です。



同祭事には、愛媛県関係者を始め、関係機関より多くの来賓にご参加いただきます。また「御田植の儀」では、地元の小・中・高生が早乙女となり、田植え装束を身に着け稲の手植えを行います。

久保谷地区は周囲を山に抱かれた農山村集落ですが、近年国道 441 号線の開通により桜ヶ峠トンネルで城川町から高知県への主要街道となっております。農業の取組は水稻、野菜、葉タバコ、養蚕、栗、柚子、酪農と多種多様であり、近年では農家の高齢化対策や遊休農地の防止対策として集落営農の取組を積極的に実施し、担い手の確保対策を強化しています。

### ■本件に関するお問い合わせ

東宇和農業協同組合 営農部（部長：古本） 【平日 8：30～17：00】

T E L 0894-62-6859 F A X 0894-62-7250 e-mail : einoubu@wine.ocn.ne.jp